



No.9

平成20.10.1発行

墨田区男女共同参画情報誌

特集

若者にみる結婚観

パートナーシップの時代に向けて



墨田区男女共同参画情報誌『にじ』は、女性も男性も共に輝く社会へのかけはしになることを願って、名付けられました。

CONTENTS

もくじ

巻頭インタビュー
アグネス・チャンさん 2P

特集
若者にみる結婚観
パートナーシップの時代に向けて 4P

区民レポート
理想の結婚とは？ 6P

インフォメーション 8P

墨田さんちの男女共同参画物語
就職、結婚、将来の夢 10P

私らしく輝いて
保育士 高橋信敏さん 12P

巻頭インタビュー

アグネス・チャンさん

歌手・エッセイスト・教育学博士

仕事と家庭の両立は多くの人の願いです。3人の子どもを育てながら、歌手、タレント、大学教授、ユニセフ協会大使として多方面で活躍しているアグネスさんは、まさにその道のパイオニア。体験談をお聞きました。



最初のお子さんを出産後、子連れで仕事に復帰したことが議論の的になりましたが、当時はどんなお気持ちだったのでしょうか。

私が生まれた香港では、女性も働いて家計を支えるのが普通でしたので、子育てのために仕事を辞めるという考えはありませんでした。子連れで仕事に行ったのは、授乳が必要な期間は、手元において育てたかったというごく自然な思いからです。しかしまだ当時の日本では、女性も子どもができたら仕事を辞めるといふ風潮がありましたので、私のとった行動に「子どもがかわいそう」とか「仕事と子育ては分けるべき」などという論争が起こったのです。

あれから21年、私はずっと子どもがいる親や働いている親にやさしい社会、生きやすい社会にしていこうと言ってきましたが、社会の意識もずいぶん変わりましたね。子育てを応援する企業も出てきましたし、何より出産後も働き続けようという女性や、子育てに参加したいと思う男性が増えているのはとても良いことだと思います。

論争の2年後、長男を連れてスタンフォード大学の大学院に留学されましたが、そのときの体験談をお聞かせください。

私の仕事と子育ての両立を巡る論争がアメリカの雑誌に取り上げられ、それを読んだマイラ・ストロバー教授が「私のところで学びなさい」と声をかけてくださったのがきっかけでした。

実は合格がきまったとき、私は2人目

子育て中はキャリアアップのチャンスだと思って、チャレンジしてみませんか

を妊娠中だったのです。留学を断念しようと思ってた私に教授は「妊娠を言い訳にしてあきらめるの？ 大丈夫。子どもを産みながらも勉強は続けられますよ」と励ましてくださったのです。

教授の言葉どおり、アメリカでは子育てしながら学んでいる人はたくさんいます。決して特別なことではありません。支援環境も整っていて、大学内には保育園もあります。子どもがお世話になった保育園も、子どもがいる大学院生が運営する施設でした。私も授業のないときは、保育士のアシスタントとしてお手伝いしました。みんなで支え合う環境があったお蔭で、私は次男を出産して、数日後には授業に出ることができました。

子どもがいても大丈夫、学ぶことができる！ チャレンジすることができ、誰もがいきいき生きられる社会とはどんな社会なのか、教えられた気がしました。その後、博士号を取得されましたが、大変ではなかったですか。

教授が「女性は資格を持っていたほうがいい。周りのあなたを見る目が変わるから」と背中を押してくれたのですが、すごく大変でした。子どもが小さかったのでコソコソと論文を仕上げて、日本に戻ってから2年がかりで博士号を取りました。でもこれは本当に自信になりました。やはり学ぶというのは素晴らしいこ

とですし、認めてもらったというのは大きな喜びになるものです。

ですから、社会人になったあと、結婚したあとでも、チャンスがあったら学ぶことをお薦めしたい。特に子どものいる方は資格を取ることを目標にしてみませんか。留学時代の友人は「子どもが小さいうちは仕事や生活のペースをダウンできるの、むしろキャリアアップできるチャンスなのよ」と言っていました。本当にそう思います。

長年、ユニセフの活動にも参加されていますが、いまだんな支援が必要なのでしょう。

一番力を入れてるのが発展途上国の女子の教育です。なぜなら教育を受けた女性は自分に育てられるだけの子どもを産むようになり、子どもの生存率が上がります。また生活力がつくので、自分の子どもにも教育を受けさせます。結果、その子どもは早婚しなくなり、死産やお産で亡くなる率も減り、どんどん良い方向につながっていくのです。

ユニセフでは、2015年までに全ての男女が小学校に通えることを目標にしていますが、現実には厳しいのです。しかし、小さな一歩でも進まないよりはいい。一人ひとりの力はわずかでも、集まればできることはあるのです。

世界の子どもの平和を願って、活動を

広めていきたいと思っています。

様々な活動の影には家族の理解や協力が欠かせないと思いが、どんなパートナーシップを築かれていますか。

夫とはお互いの1日の予定から家事や子育ての分担に至るまで、なんでもよく話し合っています。夫婦のコミュニケーションがとれていないと、子どもにしろ寄せがいつてしまいますから。一人ひとりの生き方が尊重される家族でありたいと思っています。

一昨年と昨年、病気をされましたが、体調はいかがですか。

唾液腺腫瘍と早期の乳がんにかかったのですが、大事に至りませんでした。薬膳中心の食事を心がけていましたし、「タフネス」なんて言われるくらい風邪一つひかなかったので、自分は丈夫だと過信していたのです。でもやはり年を重ねればからだはダメージを受けているものです。風潮なのでしようか、日本の女性は家族のことが一番で、自分の健康を後回しにしてしまいがちです。自分のためにも、家族に迷惑をかけないためにも、自分のからだを大切にすることを心がけてほしいと思います。

最後に若い世代に向けてアドバイスがあればお聞かせください。

格差社会などといわれ、夢や目標を持

てない若者もいると思います。でも、人生のハードルを怖がらずにチャレンジしてほしいと思います。私は父に「迷ったら一番難しい道を進みなさい。その先には一番大きな喜びが待っているから」と教えられました。もし、結婚すると大変かも、あるいは仕事が大変だから辞めたなどと悩んでいる人がいたら、迷わずその道を選んでほしいですね。その壁を乗り越えた時点で、自分が一回り大きくなっていると思うので。

私の一番の夢は、世界で大きな争いがなくなり、子どもたちが幸せに生きられる社会にすることです。難しいことですが、立ち向かっていきたいと思いません。



プロフィール アグネス・チャン

1955年香港生まれ。72年来日して歌手デビュー。上智大学国際学部を経てカナダトロント大学を卒業。91年スタンフォード大学教育学部博士課程修了。教育学博士号(Ph.D.)取得。エッセイスト、目白大学客員教授、ユニセフ協会大使など幅広く活躍。『みんな地球に生きるひと part3 ~愛,平和,そして自由~』ほか著書多数。

特集

若者にみる結婚観

パートナーシップの時代に向けて

結婚しない若者が増えています。

ひと昔前までは、大人になったら結婚して

家庭を持つのが当たり前と考えられていました。

しかし、結婚はいまや人生の選択肢の一つ、

いい人にめぐり会わなければ、

仕事や私生活が充実していれば、

無理に結婚しなくてもいいのでは……。

そんな男女が増えている一方、

結婚したら仕事も家事も子育ても

二人で協力しあい支えあっていきたいという

若者も増えているようです。

価値観やライフスタイルが多様化しているいま、

若い世代はどんな結婚生活を望んでいるのでしょうか。

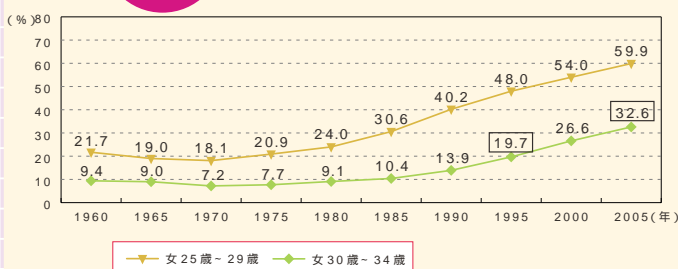
様々なデータから

若者の結婚観について探ってみました。

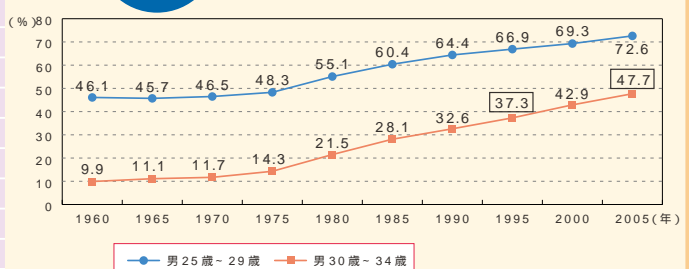


データ1 年齢別未婚率の推移

女性



男性



資料：総務省統計局「国勢調査」、2005年は同「国勢調査抽出速報」

男女のパートナーシップを！

**結婚しない若者が
増えているのはなぜ？**

未婚率は年々高まる傾向にあります(データ1)。2005年時点での未婚率データ30歳〜34歳では、男性が47・7%、女性が32・6%となっています。また、30歳〜34歳未婚率を10年前と比較すると、男性10・4ポイント、女性12・9ポイント上昇しています。

さらに厚生労働省「人口動態調査」によると、2005年の平均初婚年齢は、男性が29・8歳、女性が28・0歳となっており、これも10年前と比べると男性1・3歳、女性では1・7歳年齢が高くなっています。

なぜ未婚化、晩婚化が進んでいるのでしょうか。未婚者にその理由を聞いたアンケートによると、男女とも「適当な相手にめぐり会わなかった」「必要性を感じない」「自由や気楽さを失いたくない」と答えた割合が高くなっています。

要因としては、「結婚しなければ社会的に認められない」といった偏見が減ったこと、「女性の社会進出が進んだ」こと、「外食産業や家事の外部サービスが普及したこと

により生活面で不便さを感じなくなっている」ことなどがあげられます。

理想の結婚スタイルと現実

それでは、どんなパートナーと結婚したいと考えているのでしょうか。最近、若い世代を中心に性別役割分業を否定する人が増えています。結婚相手を選ぶときに重視することを聞いたアンケート(データ2)をみると、男女とも割合が高いのは「性格・パーソナリティ(人柄)」「価値観・相性」ですが、注目したいのは、「家事・育児に対する能力・姿勢」をあげている女性の割合が高いこと、また「自分の仕事に対する理解と協力」をあげている女性が男性と同じくらいの割合でいることです。

男女とも結婚したら、仕事も家庭も子育ても共に担いたいという考えがうかがえます。

しかし、結婚世帯の共働き夫婦の家事分担の実態をみると(データ3)、1日当たりの妻の平均家事時間は3時間4分であるのに対し、夫はわずか30分となっています。育児時間も同様で、妻が2時間49分であるのに対し、夫は43分です。さらに、仕事および家事・育児に費やす時間を合計してみると、夫が9時間58分、妻が10時間15分と妻の負担が多くなっていることがわかります。

一方、働き続ける女性は年々増えています。一方、働き続ける女性は年々増えています。一方、働き続ける女性は年々増えています。

一方、働き続ける女性は年々増えています。一方、働き続ける女性は年々増えています。一方、働き続ける女性は年々増えています。

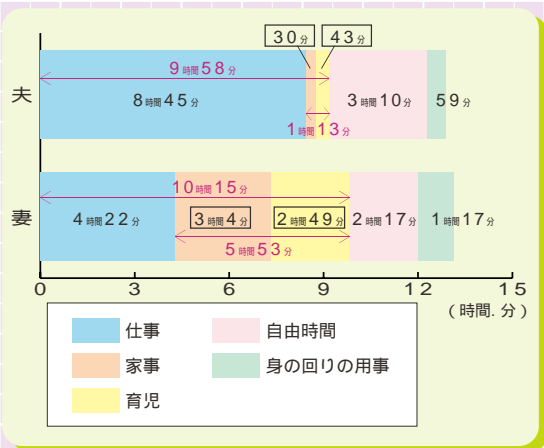
一方、働き続ける女性は年々増えています。一方、働き続ける女性は年々増えています。一方、働き続ける女性は年々増えています。

一方、働き続ける女性は年々増えています。一方、働き続ける女性は年々増えています。一方、働き続ける女性は年々増えています。

データ3

共働き世帯の夫・妻の1日の平均生活時間

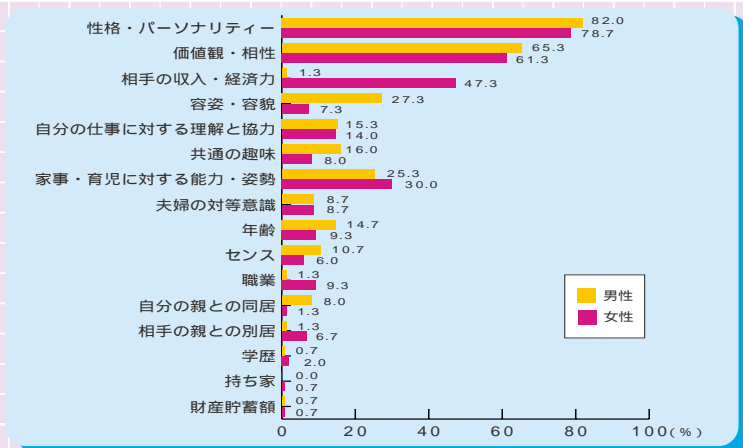
(夫婦と末子が3歳未満の世帯)



資料：総務省「社会生活基本調査」(平成18年)

データ2

結婚相手の条件 (回答3つまで)(基数：全体)



資料：「少子化に関する意識調査研究」2004年(厚生労働省雇用均等・児童家庭局)

理想の結婚とは？

区民レポート

自分の生き方を左右する結婚、どんなことが大切なのでしょう。仕事や家庭生活、夫婦のパートナーシップなどについて区内で働く20代の男女、区内在住のご夫妻にお話を伺いました。

座談会

(株) 浜野製作所
レーザー加工・金型・
精密板金・プレス加工
所在地/墨田区八広

結婚生活は
仕事も家庭も
バランスよく



【出席者】
(上段) 小俣光史さん、白石加代さん
(下段) 栗原 淳さん、藤林豊典さん

どんな結婚観をお持ちですか？

小俣 心がやすらく場所を得るのが結婚だと思うので、そういう相手であれば結婚したいと思います。

藤林 好きな人と一緒にいたいと思うので、結婚はしたいです。結婚とは好きな人と一緒に子どもを育てることだと思っています。

白石 昔と違って、無理に結婚する必要はないと思います。私の場合、仕事も充実しているし、今は結婚する必要がないと感じています。

栗原 好きな人と人生を共にしていくので、互いに思いやりが持てる結婚がしたいですね。

結婚のタイミングや条件って？

栗原 4月に社会人になったばかりで、結婚を考える余裕はまだないです。結婚って、責任が伴うものなので……。

小俣 最近、大学の後輩やいとこが結婚したのを見て、身近に感じるようになってきました。インターンシップを経て3年前に当社に就職したので

すが、その頃は社会人として一人前ではないという思いがあり結婚は考えられなかったのです。でも最近は仕事も楽しく自信が出てきたので、そろそろ結婚を考えようかなと思っています。

藤林 年齢的なこともあると思いますが、仕事が充実しているというのは大事ではないでしょうか。特殊な工具を作るこの仕事にひかれて昨年、当社に転職したのですが、最近結婚してもいいかなと思いはじめています。

白石 結婚してやりたいことができなくなるのは嫌ですね。結婚しない人が増えていくのは、この点が大きいのではないのでしょうか。また、働きたい女性が増えています。結婚すると家のことを女性がやらないといけないと考えて、仕事や趣味に費やす時間がないかと思う方が多いからではないでしょうか。

藤林 お互いに仕事が忙しかったり、出合いの場が少なかったりというのでも大きいと思います。

結婚したら、家事分担はどうしますか？

白石 私の母が専業主婦で完璧に家

事をこなす人なので、その影響があるかもしれませんが、結婚したらできる限り私が家事をしたいと思います。でも相手が自主的にやってくれるのはうれしいですね。

栗原 結構、家事が好きなので、たぶんやると思います。白石さんがいうように、気持ちが大変だと思います。家事って、得意不得意があると思うので、できるほうが自主的にやるというのがいいと思います。

小俣 自分もまかせっきりはいやなので、できるかぎり手伝いたいと思



います。そういう男性が増えているのではないのでしょうか。
藤林 ぼくも家事をすることには抵抗ないですね。できるなら分担して一緒にやりたいですね。そのほうが楽しいと思います。

「仕事と家庭」理想の結婚生活とは？

白石 当社には仕事と家庭を両立させて働いている女性もいます。大変なのはわかっていきますが、結婚しても仕事は続けていきたいと思っています。

藤林 仕事はプロとしてがんばりたいと思いますが、家庭生活も一緒に支えていきたいと思っています。その点において当社の社長は理解があるので、仕事と生活のバランスをとりながらやっていけると思います。企業によっては仕事と家庭のバランスで悩んでいても相談できないこともあると思うので、企業との間で相談役になってくれるところがあるといいですね。

栗原 ぼくも同じです。パートナーについては、仕事を続けるあるいは専業主婦になるなど、相手の意思を尊重したいですね。

小侯 同感です。結婚してもお互いに成長しあえる関係でいたいと思います。子育て中は難しいにしても、女性も何らかの形で社会とかかわっ

ていてほしいと思いますし、そのためにできることはしたいと思っています。

猿田 亨さん
妻 猿田万紀子さん
墨田区文花在住

自然体でお互いの
生き方を尊重
しあっています

職場で知り合い、6年の交際を経て結婚したという猿田さんご夫妻。今年で結婚9年目を迎え、5歳になるお子さんが一人います。結婚に至った経緯について、夫の亨さんは

「交際が長かったせいもあり、結婚は自然のなりゆきでした。特に結婚願望が強かったわけではないですが、彼女なら自分を受け入れてもらえるという思いがあったからだと思えます」

一方、妻の万紀子さんは「当時、私は鹿児島島の支店に勤務していて、親元で暮らしていました。結婚となると、私が仕事を辞め東京に出ていく必要があったのですが、迷いはあ

りませんでした。この人なら別の世界を見せてくれるという、期待感のほうが強かったのです」

結婚後、専業主婦となった万紀子さん。しかし、現在は子どもを保育園に預け、仕事をしています。「結婚して1年半くらいたった頃、夫から顔がいきいきしていいと言われ、仕事を再開することにしました。仕事と子育ての両立は大変ですが、その一方で充実感もあります」

当時を振り返り、夫の亨さんは「結婚する際、正直、彼女が仕事を辞めてしまうのはもったいないと思っていましたが、一方で彼女ならいつでも仕事ができると思っていました。やはり社会とのつながりがあるのは大事なことだと思います」

そこで家庭生活の役割分担について伺ってみると、「やはり仕事柄、残業や休日出勤があるため、家事や子育ては妻の負担のほうが大きいですね（夫・亨さん）」「とはいえ、私も働いていますから、夫の協力なしには続けられません。朝、子どもを保育園に送って行ってもらったり、子どもが塾を出した時には迎えに行ってもらったり、夫にも分担してもらっています（妻・万紀子さん）」

最後に仕事と家庭生活のバランスなど、理想の結婚生活について伺っ

てみると、「バランスは人それぞれではないでしょうか。今の私にとって仕事はやはり大事ですし、妻も理解し支えてくれるので、助かります。あまり役割にしばられてしまうと負担感が大きくなってしまいますし、また夫婦といえども違う人間なので価値観が違って当然です。自然体でお互いの考え方を尊重しあえるのが一番ではないでしょうか（夫・亨さん）」「そうですね。夫が自然体で受け止めてくれるので、私も楽に自分を出すことができます。これからもお互いのペースで仕事と家庭のバランスをとりながら支えあっていたらいいと思います（妻・万紀子さん）」と語ってくださいました。



猿田 亨さん・万紀子さん

墨田区男女共同参画推進委員会 委員委嘱式を行いました

この委員会は、男女共同参画施策を推進するため、区長の付属機関として設置しており、学識経験者や地域団体の代表の方15人で構成しています。

今回、新たに委員の選任を行い、5月19日に行われた平成20年度第1回墨田区男女共同参画推進委員会の席上で、区長から委嘱状をお渡ししました。新委員の任期は、平成22年3月31日までの2年間です。

特に今年は、新・男女共同参画推進プラン（仮称）の策定年となっており、委員の皆さんからも意見をいただき、男女共同参画社会の実現をめざし、さまざまな課題解決に向けた取組を進めていきます。



新たな委員で男女共同参画社会に向け活動します

男女共同参画社会を考える 意見交換会を開催しました

昨年度に引き続き、「男女共同参画社会って、なあに？」と題し、区民の方々と男女共同参画社会を考える意見交換会を開催しました。

今年度は、区民等で構成する「墨田区男女共同参画推進委員会」、「すみだ女性センター運営委員会」と区との共催で実施しました。

昨年実施した際に、「このような会は大事だと思う、町会・自治会にきてやってほしい」等のご意見をいただき、今回も町会・自治会の方々、また区内事業所や関係団体の方々にご案内させていただき、各委員とともに地域に赴き意見交換会を開催しました。

男女共同参画について今まで考えたことがなかった方や、日ごろから疑問や考えがあった方にも参加していただきました。

今回参加された方からは「町会にはバランスよく男性も女性も積極的に参加している」との意見がある一方、「世代によって、男女共同参画の意識が違う」や「まだまだ個々の意識を変えていかなければならない」等の意見もあり、活発な意見交換となりました。今後、このようなご意見を参考に、女性と男性があらゆる場面で個性と能力を発揮できるまちづくりをめざし、

区民の皆さんとともに積極的な取組を行っていきます。



活発な発言で盛り上がった意見交換会

新・男女共同参画推進プラン （仮称）を検討しています

現在の男女共同参画推進プランは、平成20年度末に計画期間が終了となるため、区では改定作業を行っています。

昨年度、男女共同参画推進委員会からいただいた答申はもとより、区民アンケートの結果もふまえ、時代の変遷に対応した新しいプランを検討していきます。

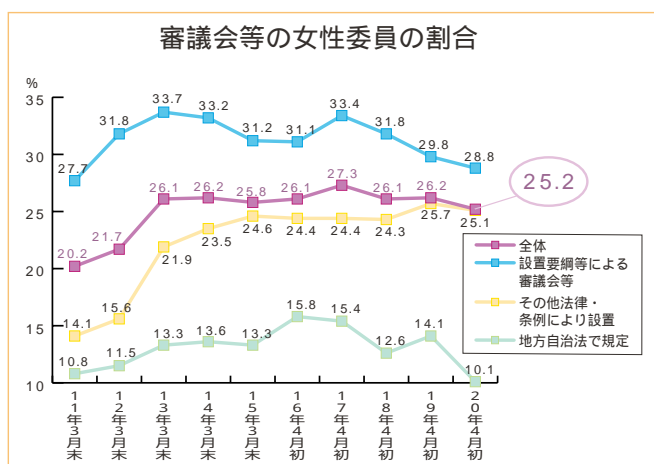
年末には新たなプランの案をお示し、皆様からの率直なご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

審議会等の女性委員の割合を 調査しました

区では、政策や方針決定過程（審議会等）への女性の参画促進を重点的な取組の一つに掲げています。これは女性と男性が方針決定過程において、共に参画することで、意見や議論に偏り

がないようにするということです。

このほど、平成20年4月1日現在で法律や条例により設置されている審議会等の女性委員の割合について調査したところ、昨年度より1%少ない25.2%（前年度26.2%）という結果になりました。これは、人事異動等により女性委員が減少したことが原因と考えられます。男女共同参画推進プランでは、平成20年度末までに50%という目標を掲げていますが、目標達成には至っておらず、今後も、参画促進に向け、女性の積極的な登用等に向けた啓発に力をいれていきます。



「問合せ」 人権同和・男女共同参画課
03(5608)6512

すみだ女性センターからのお知らせ

すみだ女性センターは
男女を問わず利用できます

男女共同参画社会に向けた講座や講演のほか、男女共同参画関連の図書の出貸や関連紙・雑誌の閲覧、また施設の出貸（有料）も行っています。



男女共同参画社会推進のための拠点施設

すみだ女性センター

【開館時間】

月曜日～土曜日 午前9時～午後9時
日曜日・祝日 午前9時～午後5時
〒131-0045 東京都墨田区押上二丁目12番7-111号
☎03(5608)1771 ☎03(5608)1770

女性のためのカウンセリング&DV相談

【相談日時】

毎週月・水・金曜日、毎月第2土曜日
午前10時～午後4時
要予約 ☎03(5608)1772

今秋以降の実施事業は、

- ・「子育てママの、私の時間」おしゃべりルーム」
- ・DV講座
- ・働く女性セミナー

・みどりコミュニティセンターで行う出前講座
です。このほかにも様々な講座や講演などを予定しています。

詳しい内容や申込方法は、すみだ女性センターへお問い合わせください。区報等でもご案内します。

また、専門のカウンセラーが女性の持つ様々な悩みやDVに関する相談をお受けしますので、お気軽にご相談ください。



その他のお知らせ

墨田区子育て支援総合センター
子育て支援事業を実施しています

在宅子育てママ救急ショートサポート事業

在宅で子育てをする保護者が急な発熱や体調不良等により子育てが困難になった場合、保護者の自宅へ子育てサポートを派遣し、お子さんを保育します。

【利用対象】

区内に住所を有し、生後43日から就

学前の健康な児童を自宅で養育する保護者

【利用できる条件】

- (1) 傷病または夜泣きや育児疲れによる体調不良により在宅で療養を要する場合
- (2) 急な病気等の理由で保護者が病院などに行く場合

【利用期間等】

- (1) 利用期間
1回連続2日間以内、月4日間まで
- (2) 利用時間
午前9時から午後4時までの原則4時間以内（土・日、祝日、年末年始を除く）
- (3) 利用料金
子ども1人につき1時間500円
- (4) 登録料

1世帯1000円（原則事前登録とする。ただし当日登録も可）

【申込み・問合せ先】

NPO法人 病児保育を作る会
☎03(3616)1727
受付時間…午前8時から午後6時まで（土・日、祝日、年末年始を除く）

子育てサポーター

区が実施する子育て支援ボランティア養成講座を修了し、区長が認定した区民等

子どもショートステイ事業

保護者が疾病や冠婚葬祭、出張、育

児不安等の理由により、一時的にお子さんを養育することが困難な場合、区が委託する乳児院・児童養護施設で短期間お子さんを養育します。詳しくはお問い合わせください。

【利用対象】

区内に住所を有し、生後7日から小学校4年生までの児童を養育する保護者

【利用期間等】

- (1) 利用期間・提供するサービス
1回につき7日間を限度とし、食事の提供や身の回りの世話、学習の援助や遊びの指導等を行います。
- (2) 利用料金
1人1日5000円
減免制度が有ります。

【施設】

- (1) 社会福祉法人二葉保育園二葉乳児院（新宿区） 定員1日1人
- (2) 社会福祉法人東京愛育苑児童養護施設東京愛育苑向島学園（葛飾区） 定員1日1人（兄弟・姉妹に限り2人まで）

【申込み・問合せ先】

墨田区子育て支援総合センター
（京島1 35 9 103）
☎03(5630)6351



墨田さんちの

男女共同

だんじょ
きょうどう

さんかく
ものがたり

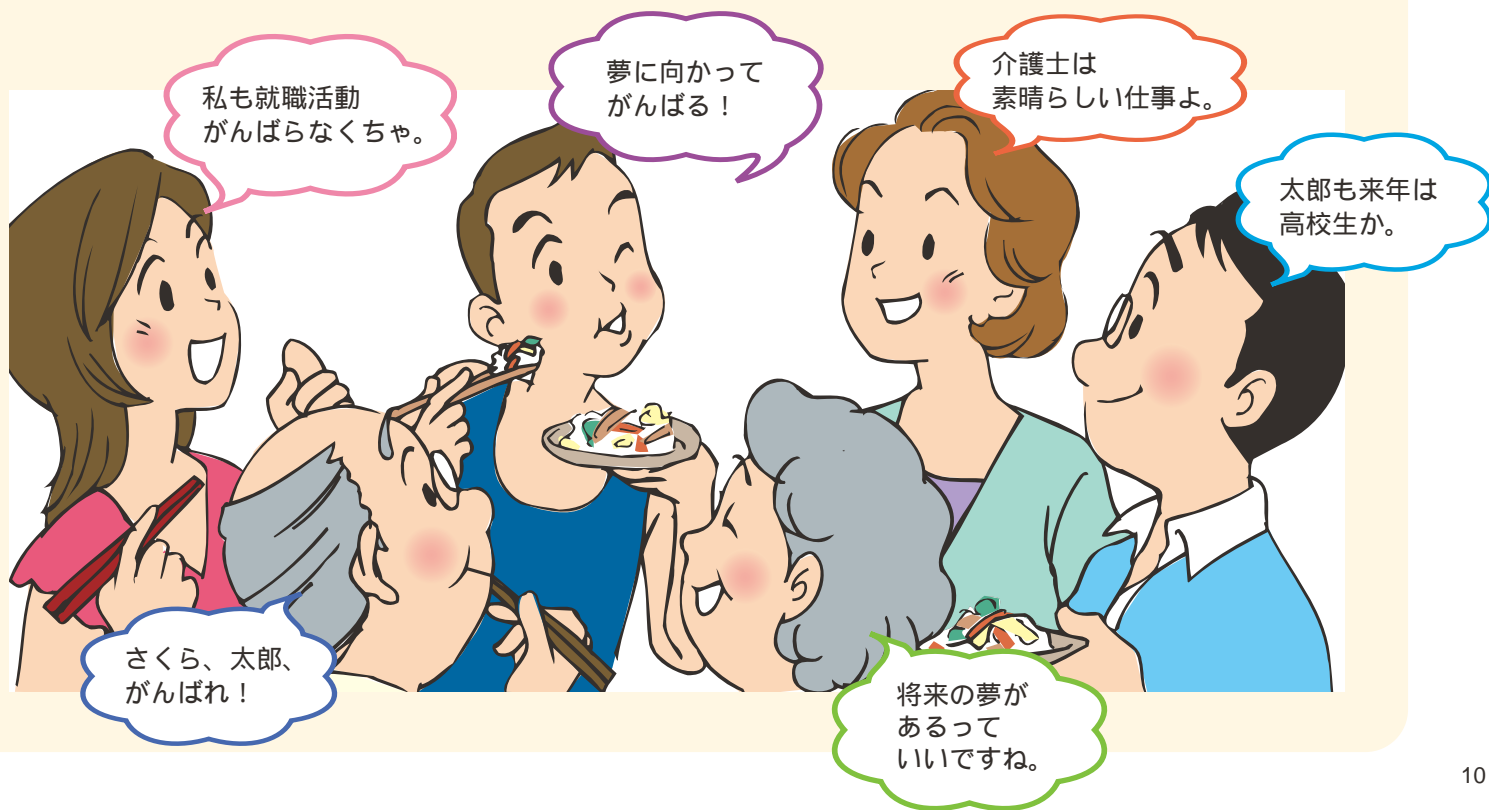
参画物語

墨田さん一家は会社員のお父さん、パートで働くお母さん、大学生のさくら、中学生の太郎とおじいちゃん、おばあちゃんの6人が一つ屋根の下で暮らす、にぎやか3世代家族。いつも会話が絶えません。さて、今回はどんな話が飛び出すのでしょうか……。

就職、結婚、将来の夢

の巻

さくら 太郎。どうしたの？ 深刻な顔しちゃって。
太郎 学校で進路や将来の仕事を話し合う授業があったんだけど、まだ決まってる人がけっこういるんだ。
母 太郎は介護福祉士になるって目標があるじゃない。
太郎 うん。高校から福祉関係の大学行って、資格をとりたいと思っている。
さくら 太郎も来年は高校生だし、将来のこと、現実的に考え始めているんだ。
太郎 まあね。でも友だちがいうには介護の仕事は大変だつて。
父 そうか。でもどんな仕事も楽じゃないぞ。父さんの仕事も売上げ目標があったり、取引先の人に気を遣ったり苦労してるよ。
母 そうね。大切なのはその仕事にやりがいもてるじゃない。



キーワード

▶進路や将来の仕事

「なりたい職業」について民間の教育研究機関が行った調査(2004年調べ)では、中学男子では「野球選手」「サッカー選手」「学校の先生」がベスト3、「ゲームクリエイター」「芸能人」が上位にあげられています。中学女子では「保育士」「看護師」「マンガ家・イラストレーター」がベスト3、「芸能人」「ケーキ屋・パティシエ(菓子職人)」が上位にあげられています。しかし、高校生になると、「学校の先生(男女で1位)」「公務員」「医師」「看護師」「理学療法士」「薬剤師」など、男女とも資格の必要な安定した職業が上位にあげられています。

▶ワーキングプア

正社員並みに、または正社員としてきちんと仕事をしているにもかかわらず、生活の維持が困難な状況の収入しか得られない労働者をいいます。

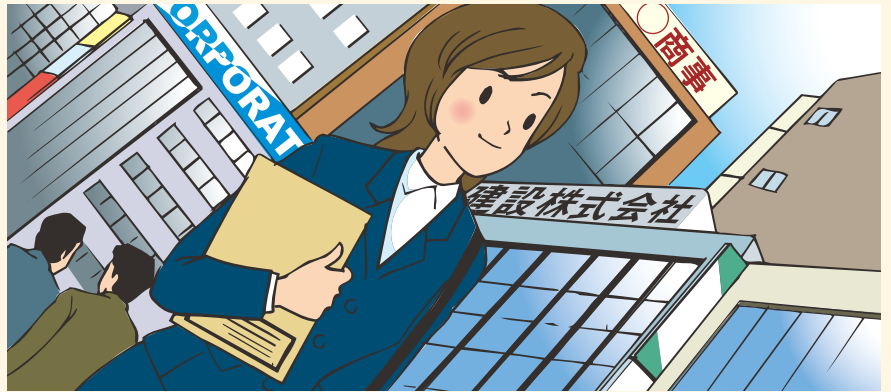
国税庁の民間給与実態調査によれば、給与所得者の2006年の平均給与は435万で、9年連続で減少しています。給与階層別にみると、200万円以下の方が前年より42万人増え、21年ぶりに1,000万人を超えました。要因として就業形態が多様化したことや企業の人員削減などで非正規雇用者が増えたことがあげられます。

▶仕事と家庭を両立

未婚女性が希望する「結婚後のライフコース」として、「専業主婦」を望む人が減り、「仕事と家庭の両立」を望む人が増えています。1987年の調査では「専業主婦」を希望する女性は33.6%だったのに対し、2005年には19.0%にまで減っています。一方「仕事と家庭の両立」を希望する女性は、87年には18.5%だったのに対し、05年には30.3%にまで増えています。男性が期待する「女性の結婚後のライフコース」も同様の傾向にあり、「仕事と家庭の両立」を望む人が増えています(国立社会保障・人口問題研究所調査より)。

▶職場復帰を支援

産休・育児休業後の職場復帰の支援を行う企業が増えています。その理由の一つとして、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を図り、優秀な人材の確保や社員の定着をはかろうというねらいがあるようです。具体的な支援として、休職中にスキル維持のために「随時会社の情報を知らせる」「先輩社員からアドバイスが受けられる」「復帰のための訓練プログラムがある」等があげられます。



太郎 そうだね。めげずにがんばる!

さくら 私もそろそろ就職のこと、本気で考えなくちゃ……。

父 どうなんだ。具体的に考えているのか。

さくら うん。先輩の話参考に設計関係の会社を調べているところ。

母 今年は就職状況がずいぶん良かったみたいね。

さくら だけど、来年がいいかどうかかわらないわ。

男性の先輩の中には、派遣社員やいわゆるワーキングプアのような人もいるみたい。結婚もできないって、嘆いていた……。

母 格差社会などと言われているけど……。

父 日本の独特の雇用慣行で、新卒で正社員の仕事に就けないと、その後になかなか安定した職に就くのが難しいという状況があるからなあ……。

祖父 大変な時代じゃな。我々の頃はまじめに働いていれば人並みの生活ができたものじゃが。

祖母 そうですね。ある年齢になればたいして結婚して子どもを育てて……。

さくら あっ、でも心配しないで。私、仕事の夢もあ

るけれど、子どもを育てて、仕事と家庭を両立させて

働くのが一番の夢なんだから。

母 そうだったわね。

祖父 そうか。曾孫の顔が見られるのか。楽しみじゃのう。

祖母 おじいさん、ちょっと気が早いですよ。

太郎 そうだよ。おねえちゃん、まだ彼氏もいないっていうのに……。

さくら もう、それは言わないでっ。

父 いまは就労状況が決まっているとは言えないが、これからは変わってくると思うよ。労働人口が減っているのだし、いろいろな人が働きやすい仕組みを作っていくかなければならない時代だから。

母 お母さんの会社でも、産後の職場復帰を支援するプログラムができたので、働き続ける人が増えているわ。

祖母 さあ、そろそろご飯にしましょう。今日はおばちゃん特製のちらし寿司よ。

太郎 おいしそう!

全員 では、いただきまーす。

私らしく輝いて

子どもと真剣に向き合うことで
好奇心を育んでいきたい

保育士
高橋 信敏さん



「も」とも人間が好きで、人の成長にかかわる仕事がしたいと思い、この職場に就職しました」

こう語るのは、社会福祉法人興望館で保育士として活躍している高橋信敏さん。興望館が運営する学童クラブや児童養護施設での長年にわたる勤務を経て、6年前か

ら保育園で働いています。

「好奇心に満ちた子どものまなざしっていいですね。幼少期ならでは子どもの柔軟な発想から発見することの多い毎日です。」

様々な分野で活躍する男女が増えてきているなかでも、男性の保育士はまだまだ少ないのが現状。興望館でも現場で保育にあたっている男性は高橋さん一人です。

「女性の仕事というイメージがあるかもしれませんが、保育の分野にも男女の視点が必要だと思います。学童クラブに勤務していたときも保護者の方から、男性の指導員がもっといてくれたらいいという声を聞きました。冒険心を育む遊びなどは、男性のほうが思いつきりつきあつてあげられると思います」

遊びだけでなく、どんな場面でも子どもと真剣に向き合っていくことを心がけているという高橋さん。「給食も一緒に食べて、おかわりもします。そのほうが食事の楽しさが伝わり、たくさん食べてくれますね」

また、大正9年に設立された興望館は、様々な活動を通じて地域の子どもの育ちや交流の場としての役割も担ってききました。その一つがボランティア活動です。

「誰もが暮らしやすい地域を築

いていくためには、助け合いの精神が必要です。うれしいこと、ここから巣立っていった子どもたちの中には、社会人になってもボランティアを続けている人がけっこういるんです。感動したのは、その学童クラブ時代の教え子が親になり、そのお子さんが保育園に入園してくることで。もう何組もいるんですよ」と嬉しそうに語る高橋さん。

今後の豊富について「物事を見て感じて学んでいる子どもたちの日常には、感動させられることがいっぱいあります。保育園での子どもの成長の様子を、いつか絵本のよいうな形にまとめてみたいですね」と語っていただきました。

J:COM

あなたと素敵な毎日をつなぐ
ケーブルテレビ。



u:go (ユーゴ)はJ:COMのイメージキャラクターです。放送と通信の融合をお手伝いします。

J:COM すみだ 0120-999-000

J:COM

検索

広告